

品川区民芸術祭十回記念公演

市川右團次 市川九團次 大谷廣松 歌舞伎舞踊公演



(©松竹株式会社)

市川右團次

◆ 操り三番叟
あやつ さん ば そ
市川右團次 長唄囃子連中

◆ 棒しばり
ぼう 市川九團次 大谷廣松 長唄囃子連中

◆ 三人石橋
さん じん しゃつ きょう
市川右團次 大谷廣松 市川九團次 長唄囃子連中



大谷廣松

市川九團次

2019年11月4日月休 開演17:00 (開場16:30)

まゆりあん 8F 大ホール (JR大井町駅前)

料金(全席指定・税込) ※未就学児童入場不可

S席 4,000円 / A席 3,000円 / B席 2,000円

【主催】S 品川文化振興事業団

【制作】株式会社3Top

【制作協力】全栄企画株式会社 / 株式会社ちあふる

【協力】松竹株式会社

30 まゆりあん 周年記念

品川文化振興事業団がお届けする

歌舞伎シリーズ
第二弾!!

歌舞伎舞踊公演

一 操り三番叟

「操り三番叟」は糸繰りの人形が三番叟を踊るというユーモア溢れる趣向で楽しい舞踊です。後見が人形箱から三番叟を取出すと、あたかも糸で操られているかのように踊り出します。次第に糸が絡まり、切れ、動かなくなつた三番叟の後見が糸をつなぐと、魂が宿つたかのように、ますます鮮やかに、手ぶり足ぶりも面白く舞い続け、五穀豊穡を祈つてめでたく舞い納めとなります。

二 棒しばり

大名に仕えている太郎冠者(たろうかじや)と次郎冠者(じろうかじや)は無類の酒好きです。大名が外出するたびふたりが酒蔵の酒を盗み飲むので、困り果てた大名は、太郎冠者を後ろ手に縛り、次郎冠者の両手を棒に縛って、外出します。しかし、ふたりは縛られたまま酒蔵へ行き、助け合つて酒を飲み、唄ったり、舞ったりなど大騒ぎです。軽やかで可笑しみ溢れる人気舞踊です。

三 三人石橋

唐の仏寺や霊地を巡礼した寂照法師はついに清涼山へたどり着きます。石橋を渡ろうとすると、童子が表れてそれを止め、神仏の加護がなければ簡単に渡れるものではないと諫め、橋の向こうは文殊菩薩の浄土であり、やがて奇蹟が現れるので、しばらくここに待つように告げて姿を消します。まもなく文殊菩薩の試写である獅子が石橋に現れ、咲き乱れた牡丹の花に戯れて勇壮な舞を魅せ、なびかぬ草木もない太平の御世のめでたさを舞い納め、獅子の座に帰っていきます。獅子の舞いは勇壮にして豪華で、躍動美の極致ともいえ、端正な姿態といったものを表現します。今回は右團次、九團次、廣松が三人で舞うという珍しい演出を是非ご堪能ください。



市川右團次

1963年11月26日生まれ。飛鳥流家元・飛鳥峯王の長男。1972年6月、南座「天一坊」の一子・忠右衛門を本名の武田右近の名で初舞台。1975年、三代目市川猿之助(現・猿翁)の部屋子となり市川右近を名乗る。2017年1月、新橋演舞場にて上方歌舞伎ゆかりの大名跡、三代目市川右團次を襲名。きびきびとした動きと口跡が印象的で、舞台全体の要となる重要な役どころや老け役も演じる。近年では、大きな話題となったスーパー歌舞伎Ⅱ『ワンピース』のエドワード・ニューゲート(白ひげ)を勤め、エンターテインメント色たっぷりの舞台を引き締めた。また、『弁天娘女男白浪』の日本駄右衛門や、『十種香』の長尾謙信の貫禄など、古典でも存在感と風格を見せ、『車引』の梅王丸や、『矢の根』の五郎では勇ましい荒事の魅力を見事に表現。際立つ存在感と風格で大いに魅せる。歌舞伎以外ではテレビドラマ『陸王』やバラエティ番組にも多数出演。またオペラの演出を手掛けるなど、マルチな才能を如何なく発揮している。



市川九團次

1972年4月4日生まれ。1998年坂東竹志郎を名乗り初舞台。2005年四代目坂東新車襲名。2014年市川海老蔵門下となり、市川道行を名乗る。2015年1月新橋演舞場『石川五右衛門』の建州女真族長ヌルハチで四代目市川九團次を襲名。市川海老蔵一門として全国での公演を行うほか、2016年には九團次として初めての自主公演「九團次の会」を開催。3年目となる2018年6月には舞踊『翁千歳三番叟』『静と知盛』に加え、講談『新吉原百人斬り〜お紺殺し〜』に挑み、魅力の口跡の良さを生かした熱演が好評となる。全国11ヶ所13公演を勤め上げた。

テレビCMやバラエティ番組にも多数出演。最近では「RIZAP」のCMで鍛え上げた身体を披露。雑誌「GINGER」のwebサイトでは自慢の料理の腕を生かし、レシピを連載している。また、滑らかな語り口を発揮し、学生や一般の方へ歌舞伎のワークショップを行うなど歌舞伎の舞台以外でも幅広く活躍中。



大谷 廣松

1993年7月21日生まれ。大谷友右衛門の次男。祖父は四世中村雀右衛門。1998年5月歌舞伎座『江戸育お祭佐七』で祭礼の屋台の「落人」の伴内で青木孝憲の名で初お目見得。2003年1月歌舞伎座『助六由縁江戸桜』の禿で二代目大谷廣松を襲名し初舞台。

優しい顔立ちを生かし、女方を軸に活躍する平成生まれの花形の一人。近年は市川海老蔵の一座に加わることが多く、2018年は海老蔵の全ての公演に出演。5月歌舞伎座『雷神不動北山櫻』の小野春風、7月歌舞伎座『三國無雙瓢箪久』の森蘭丸など目立つ役も担うようになってきた。9月・11月市川海老蔵特別公演「古典への誘い」地方巡業では『汐汲』の松風を勤め、『三社祭』の善玉では九團次の悪玉と共に息の合った動きを見せるなど、舞踊への精進ぶりをうかがわせた。持ち前の気品を生かし凛とした武士から色気のある遊女まで、役柄で大きく雰囲気が変わるのが魅力。

チケット好評発売中!

※未就学児童入場不可

窓口 9:00~

- きゅりあん(JR大井町駅前)
- スクエア荏原(東急目黒線武蔵小山駅徒歩10分)
- メイプルカルチャーセンター(JR西大井駅前)
- O美術館(JR大崎駅前/発売翌日以降は10:00~)

10:00~

- しながわ観光協会(大井一丁目共同ビル1F)

窓口でのお支払いに区内共通商品券をご利用いただけます

電話 10:00~

- チケットセンター CURIA(キュリア)
- ☎03-5479-4140(発売翌日以降は9:00~)
- ※電話予約では座席をお選びいただけません

インターネット 9:00~(発売日以降は24時間受付)

(公財)品川文化振興事業団ホームページ
http://www.shinagawa-culture.or.jp



しながわぶんか

検索

賛助会員募集 《年会費》個人会員 一口 3,000円

※詳細は事業団ホームページでご確認ください。

申し込み・問い合わせ

品川文化振興事業団 ☎03-5479-4112
文化振興係 (平日9:00~17:00)